高速道路の災害復旧支援
防災エキスパート
高速道路サポーター
会報

令和４年度第２号
令和4年11月18日発行

防災エキスパート事務局本部
公益財団法人高速道路調査会
事業部 共創事業課

令和４年度第２号会報発行にあたり

全国の防災エキスパート(高速道路サポーター)会員の皆さま、日々の活動お疲れ様です。また本会報をお読みいただいている皆さま、今後も防災エキスパート活動にご理解とご協力をお願いいたします。

今号は、NEXCO西日本の危機管理防災担当部長 大本様にメッセージを頂きました。

本会報を最後までお読みいただき、防災エキスパートについてより理解を深めていただければ幸いです。

(事務局本部)

想定外の災害に備えた災害対応力の向上を！

防災エキスパート運営連絡会委員
西日本高速道路㈱本社
保全サービス事業部
危機管理防災担当部長　大 本 英 輝

防災エキスパート会員並びに関係者の皆様方には、日頃より高速道路事業及び防災エキスパート活動へのご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。コロナ禍が始まり3年が経過しようとしていますが、これまで感染者の急増と医療ひっ迫、厳しい行動制限など、想定外ともいえる出来事を経験してきました。最大のピークとなった第7波もようやくピークアウトし、社会もwithコロナに舵が切られ行動制限の緩和と旅行や観光など様々な活動がwithコロナのもと再びできるようになってきたところです。しかしながらいまだ新たな変異株の出現など予断を許さぬ状況には変わりはなく、引き続きこれまでの経験を踏まえた備えと感染対策が必要です。

このことは、災害にも同様なことが言えると思います。地球温暖化が要因とされる異常気象により毎年日本のどこかで大雨などによる災害が発生しています。過去最大級や今までに経験したことがないと形容される、激甚化した異常降雨が毎年のように発生し災害を引き起こす、いわばwith異常気象の時代に我々は生きていることの認識と日々の備え、対応が必要とされています。

気象庁によりますと、今年の梅雨は、速報値では梅雨明けが九州南部から東北南部の9つの地方のうち7つの地方で“観測史上最も早い”としていたものの、確定値では概ね1か月遅い7月下旬に変更、東北北部・南部と北陸地方の梅雨明けを“特定できない”に見直すなど異例づくめであったようです。

最近の西日本管内を振り返りますと、平成30年7月豪雨による高速道路における甚大な被害は未だ記憶に新しいところですが、その後も令和2年7月の記録的大雨では、活発な前線の影響により九州を中心に西日本から東日本の広い範囲で大雨となり、7月の降水量は広い範囲で平年の2.0～2.4倍と1946年の統計開始以降最大の大雨となっています。令和3年8月の記録的大雨では、同様に活発な前線の影響により九州と中国地方で線状降水帯が発生し、降水量が九州南部・四国地方では1,400mmを超えるなど、8月の降水量としては西日本日本海側で平年の3.7倍、太平洋側で3.0倍と1946年の統計開始以降最大の大雨となりました。 また、直近では令和4年9月に台風上陸記録としては4番目の気圧の低さで九州に上陸した台風14号は、台風では初めて特別警報が出され、弊社が管理する高速道路の延長のうち42%(1,495km)において通行止めを余儀なくされるなど、西日本管内でも毎年のように大雨などによる災害が発生しております。

いつ、どこで大規模な災害が発生しても不思議ではなく、まさに危機は目の前に来ていることを実感しており、日頃より備えなければなりません。いざ有事の際には、早期復旧のためNEXCOグループの総力を結集して対応に当たる必要があるとともに、豊かな経験に裏打ちされた技術的専門力、ノウハウを有した高速道路サポーターの皆様との連携が不可欠であると考えます。有事を想定した平時のサポート活動による災害対応力の更なる向上を含め、引き続き会員並びに関係者の皆様にはご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いします。

報告

支部活動状況 （1/5）

令和4年6月～10月に報告があった支部の活動状況について情報共有します。

東北支部

活動名	防災訓練
実施日	令和 4年9月1日（木）
場所	㈱ネクスコ・エンジニアリング東北　本社 （メールを活用した伝達訓練）

【内容】
防災エキスパート会員へメールを活用した派遣要請の伝達訓練を実施
・仙台市利府町断層を震源とする地震（震度6強）が発生したことを想定
・一般会員3名に参集要請メールを発信し、2名は参集可能、1名は参集不可能の返信があり
　参集可否の確認を行った。

【参加者】一般会員：3名

関東支部

活動名	防災訓練
実施日	令和4年9月1日(木)
場所	㈱ネクスコ東日本エンジニアリング　本社 （メールを活用した伝達訓練）

【内容】
・防災エキスパート会員へメールを活用した派遣要請の情報伝達訓練
　を実施
　想定事象：首都直下地震(最大震度7)発生
　詳細：NEXCO関東支社より、多数の被害が確認されている管内に
　　おいて、防災エキスパートの派遣要請
　　現地参集の可否について、報告依頼
　派遣先：京浜管内/所沢管内/三郷管内
　　（集合場所は各管理事務所）
　報告事項：氏名/連絡先/参集可能な派遣先/集可能日時

【参加者】一般会員：9名

災害対策本部

情報伝達訓練状況

報告　支部活動状況 （2/5）

新潟支部

活動名	新潟支部会議・技術講演会
実施日	令和 4年6月14日（火）
場所	アートホテル新潟駅前

【内容】
1.防災エキスパート全国の活動状況
2.NEXCO 東日本新潟支社の防災への取組み
3.防災エキスパート新潟支部の活動
4.技術講演会「新潟中越地震を振り返って」
　㈱アクティオ 産業機械事業部 参与 諫山 武歳 氏
5.技術講演会「気候変動と災害対策」
　㈱ウェザーニューズ 道路気象コンテンツサービス チームリーダー 飯田 氏

【参加者】一般会員： 7名、グループ会員：13名

講演会

活動名	防災訓練
実施日	令和4年9月1日(木)
場所	新潟支社 湯沢管理事務所

【内容】防災訓練への参加
①段差修正訓練
　災害時に緊急車両等の走行に支障がある場合などに備えて、土嚢を積み重ね車両が走行可能な斜路をNEXCO東日本グループで造る訓練を行うもの
②衛星電話使用訓練
③災害対策基本法に関する訓練（座学）
④災害対策基本法に関する訓練（実技）
⑤車両移動訓練
・ゴージャッキによる車両移動訓練
・TSによる車両排除訓練
⑥オートソック装着訓練
⑦車両牽引訓練

【参加者】グループ会員： 1名

活動名	防災訓練
実施日	令和4年9月1日(木)
場所	新潟支社 上越管理事務所

【内容】防災訓練への参加
①情報伝達訓練
　地震情報等の伝達、非常参集の可否、安否確認の実施
②社長訓示（衛星放送・ZOOM配信）
③防災業務要領等の説明
　A）防災体制と非常参集
　B）防災体制構築時の組織体制及び構成員
　C）通行止め基準、降雨通行止めにおける土壌雨量指数試行
　D）火山災害対応マニュアル
　E ）ハザードマップについて
④情報収集機器等の操作訓練
　A）セーフィー、IP無線　　B）危機管理GIS
　C）衛星携帯電話　　D）防災対策室の配置機器
　E）無線通信訓練
　F）車両移動関連（ゴージャッキ、牽引ロープ）
⑤非常食炊き出し訓練

【参加者】グループ会員： 1名

防災訓練実施状況

報告　支部活動状況 （3/5）

東京・八王子支部

活動名	基本点検
実施日	令和 4年6月7日(火)、8日(水)
場所	八王子支社　八王子保全・サービスセンター

【内容】
基本点検への参加

【参加者】一般会員：1名、グループ会員：2名

活動名	防災訓練
実施日	令和4年9月1日（木）
場所	東京支社

【内容】
東京支社第1回総合防災訓練への参加
・本部訓練（道路啓開訓練）
想定事象:　南海トラフ地震M9クラスの地震

【参加者】一般会員：2名

活動名	防災訓練
実施日	令和4年9月1日（木）
場所	八王子支社

【内容】
八王子支社総合防災訓練への参加
・本部訓練（道路啓開訓練）
想定事象: 糸魚川ー静岡構造線断層の地震

【参加者】一般会員：1名

関西支部

活動名	石部植栽場（創設当時の呼称）取材
実施日	令和4年6月15日（水）
場所	茨木技術研修センター（I－TR）

【内容】
・NEXCO西日本広報誌掲載の「ぷらハイウェイ」第5弾企画で日本道路公団 OBを招聘し、
技術伝承プロジェクトの一環として石部植栽場創設や名神高速道路の植栽にまつわるエピソードを聴講

【参加者】
出席OB：竹内平吾氏、渡辺裕之氏、安元信廣氏
NEXCO西日本 本社：3名、関西支社：1名、
NEXCO中日本 東京支社：1名、名古屋支社：1名、
NEXCO総研 緑化技術センター：1名、　全高速：1名
一般会員：2名、グループ会員：1名

報告

支部活動状況 （4/5）

四国支部

活動名	防災訓練
実施日	令和4年9月1日(木)
場所	四国支社　防災対策室

【内容】NEXCO西日本総合防災訓練・四国支社への参加
〇想定事象：南海道南方沖、M8.0の地震発生、高知、徳島県沿岸部(震度7)、山間部(震度6強)「南海トラフ巨大地震」
〇方針： NEXCO四国支社の防災訓練は、N本社と連携した実戦形式のオペレーション訓練
四国管内の被災情報収集から緊急交通路確保の課題を確認
〇詳細：エンジ四国は、防災エキスパート会員への支社リエゾン、アーカイブ班、ウェラブルカメラ斑、ドローン斑の派遣を要請
〇今後の課題：1）発災から24時間以内の緊急交通路の確保
・橋梁段差の被災状況如何による緊急交通路の復旧の確保と難易度
・一般道を迂回する緊急路の確保の検討
2）一次・二次点検の長時間化における点検班増員の体制
〇防災訓練参加へのお礼と防災エキスパートへの支援要請
・災害時における防災エキスパート関係者の豊富な経験と技術力支援について、今後とも協力を要請

【参加者】グループ会員：4名

防災訓練実施状況

活動名	防災訓練
実施日	令和4年9月1日(木)、9月8日（木）
場所	四国支社　愛媛高速道路事務所

【内容】[内容]NEXCO西日本 愛媛高速道路事務所 総合防災訓練への参加
〇9月1日
1)防災に関する講話
①「防災対応概要説明～初期行動マニュアル」
②「防災必携について」愛媛(道) 高速道路サポーター講師：岡崎順一氏
2)防災実施訓練
①ドローン飛行　②ラリックス送信　③衛星電話通信
〇9月8日
3)油処理対応訓練
4)防災に関する講話「異常降雨通行規制基準に関する第二基準の土壌雨量指数について」
愛媛(道) 高速道路サポーター講師 石村典久氏
【参加者】グループ会員：5名

防災訓練実施状況

報告　支部活動状況　(5/5)

九州支部

活動名	九州地区防災講演会
実施日	令和4年6月7日(火)
場所	チクモクビル　大ホール

【内容】
○目的:防災エキスパート九州支部の活動及び、NEXCO九州支社並びに九州地区の各グループ会社若手社員に防災の重要性と諸先輩方が築いた技術を、若手社員に伝承
○主催:防災エキスパート 九州支部
○共催:西日本高速道路　九州支社
○講演者:①奥園アドバイザー
②下野技師長
③河北部長
○活動結果
出水期前の防災意識が高い時期に開催した防災講演会は、内容が、過去の降雨災害事例、発生メカニズム、活動状況、対応策等であり、若手技術者の防災意識が向上に貢献。

【参加者】一般会員:11名、グループ会員:14名

防災講演会

活動名	防災エキスパート九州支部リーダー会議(調整会議)
実施日	令和4年8月29日(月)
場所	西日本高速道路エンジニアリング九州　本社

【内容】
NEXCO九州支社、各地区防災リーダー及びサブリーダー等による定期調整会議
会議内容:　令和3年度活動報告
令和4年度活動計画及び活動実績報告会計報告
会員状況報告
その他連絡事項
【参加者】NEXCO西日本 九州支社: 1名
グループ会員:14名

報告　高速道路サポーター会員数

各事務局支部の会員数について報告します。

高速道路サポーター会員数

令和4年10月末時点

支部名 / 会員数	北海道	東北	関東	新潟	東京・八王子	名古屋・金沢	関西	中国	四国	九州	合計
一般会員	3	40	36	11	28	33	52	12	19	36	270
グループ会員	11	30	16	24	46	21	42	10	48	65	313
計	14	70	52	35	74	54	94	22	67	101	583

一般会員：NEXCOグループ会社社員以外の会員　／　グループ会員：NEXCOグループ会社の社員

情報共有　令和4年度活動実績

令和4年度の各支部における上半期の活動実績と下半期の計画です。

各支部におかれましては、今後の活動計画を立案される際に、「防災エキスパート（高速道路サポーター）会員専用ページ」や本会報で他支部の活動も確認できますのでご参考ください。

令和４年度 防災エキスパート(高速道路サポーター)活動状況

項目	令和４年度												備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
北海道									調				
東北	点					訓					支	研	
関東		点				訓				調		支・講	
新潟	点		支・講			訓					支・講		
東京・八王子	点	点	点			訓	ボ		他				他：現場見学会等
名古屋・金沢	出・点	出										支・講	
関西	調・支・講	調	調	調	調	調	調	調・出	調	調	調	調	
中国							訓				支		調：時期未定（年1回）
四国		調				訓	支・講	他	講・訓		講	調	他:NEXCOとのボランティア活動(N主催大豊町つなぎの森)
九州	点		講		調						調	点	

凡例	【支】支部会議、【講】講演会(支部主催・共催)、 【出】出前講座、技術講習会 【点】基本点検(会議等含む)、【訓】防災訓練 【研】講演会等の参加、【調】連絡調整会議等 【災】災害支援、【他】その他 【ボ】被災地ボランティア活動

情報共有　被災地ボランティア活動の支援制度

昨年度より、下記のとおり「高速道路サポーター」会員以外の被災地ボランティア活動へ支援を行っております。

防災意識・スキル向上のための被災地ボランティア活動の支援制度

〇将来の高速道路サポーターとなる高速道路会社社員のあなた、高速道路会社のグループ会社社員のあなたが対象です。

〇旅費交通費・宿泊費等を支援します。

【対象者】　高速道路会社の社員、高速道路会社グループ会社の社員

【どういう場所】　安全が確保されている活動の場であること

例）活動の場である被災地にて行政・現地福祉事務所や災害ボランティアセンター等が運営するボランティアセンターが設置運営されていてその団体がボランティアを募集していること

【活動区分】　独自で行うもの

支部等が企画したボランティア活動に参加するもの

【手続き方法】　ボランティア活動実施に伴う事前手続きについては、高速道路調査会ホームページをご覧ください。

※申込みは、事務局支部が窓口になっております。

報告　静岡市清水区における災害ボランティア活動

被災地ボランティア活動の支援制度を活用した初の活動報告

台風15号より4週間経過した10月20日現在においても、静岡市清水区では災害ボランティアセンターに約950件の相談件数に対して約550件の活動が完了している状況である。それを踏まえ、被災地ボランティア活動の支援制度を活用し、被災地支援を実施したもの。

〇実 施 日　令和4年10月17日(月)～20日(木)9時～16時

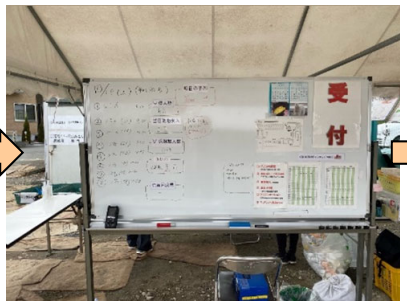
〇活動場所　清水災害ボランティアセンター

（静岡市清水区宮代町1-1清水区内）

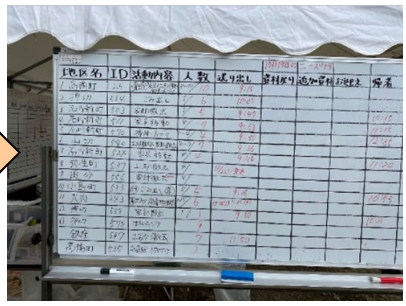
〇内　　容　台風15号の被災者の支援活動（横砂中町、北脇新田）

〇参加者　　NEXCO中日本　御殿場保全・サービスセンター社員　1名

JR清水駅東口広場集合
→マイクロバス8:50出発



清水区ボランティアセンター
9:10到着受付
→新規入場者はオリエンテーションへ



支援者と活動内容のマッチング
→資機材を積んで現地へ出発

被害の大きい清水地区の被災者の支援活動として、主に床上浸水した家屋の家具・畳の搬出・床材の剥ぎ取り・溜まった土砂の撤去搬出作業を実施した。直接被災地の皆様の苦労に触れ少しでも和らげる協力ができたことは、貴重な体験となった。日中の支援はできても深夜や一人暮らしの被災者の心の傷の支援ができなく悔しい思いが残った。

情報共有　高速道路サポーター会員専用ページをご活用ください

「高速道路サポーター」活動における情報共有のため会員専用ページをご活用ください。

会員の利用にあたっては、IDとパスワードによる認証が必要となります。未登録の方は、利用マニュアルが各支部にありますので、お問い合わせください。

求む!　高速道路サポーター会員「講演会説明資料」等のご提供に関するお願い

高速道路サポーター会員のみなさま、高速道路サポーター活動に、ご尽力・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

事務局本部では、これまで皆さま方が防災講演会等で説明頂いた資料につきまして、幅広く活用したく、NEXCO社員、グループ社員へ、記録として伝承していきたいと考えています。

つきましては、皆さま方が講演等に使用されました資料につきまして、ご提供頂きたくお願い致します。

頂きました資料に関しましては、会員専用ページに掲示し、全国の会員の他、NEXCO・グループ社員に共有し、防災意識の向上に役立てて参ります。

《資料提出先》

東京都港区南麻布2-11-10　OJビル2階
高速道路調査会
　防災エキスパート事務局本部
TEL：　03-6436-2090
FAX：　03-6436-2098
E-mail：
　bousaiex@express-highway.or.jp

編集後記

高速道路調査会事業の1つであるハイウェイテクノフェア2022が11/24、25に東京ビッグサイトで開催されます。

ハイウェイテクノフェアは、平成16年に開始して以来、令和4年で18回目の開催となり、高速道路に関する新技術・新工法、資機材および現場の支援システム、環境技術等を紹介する展示会です。

令和2年度はコロナのため中止となりましたが、令和3年度からはオンライン展示も合わせて実施し、今年度はリアル展示の前にオンライン展示を開始する計画としました。

防災に関わる技術の展示もありますので、より多くの方のご来場をお待ちしております。詳しくは調査会ホームページをご確認いただき、事前登録の上ご来場ください。

会報を作成するにあたり今回ご執筆いただいた皆様、ならびに最後までお読みいただいた皆様方にお礼申し上げます。(事務局本部)

・災害時の支援活動も、平時の活動と交流があればこそ！！
・基本点検、技術伝承、防災訓練等の交流活動から！！